

幸手市商工会 青年部

幸手市商工会青年部通信
第8号(通算60号)
平成24年9月1日(土)発行
発行者 石塚 輝実
編集 総務委員会

笑顔がいっぱい! ファミリーバケーション

8月16日(水)毎年恒例のファミリーバケーションが行われました。今年
は伊香保グリーン牧場から榛名湖への日帰りバス旅行! 大人から子供
まで、50名を越える沢山の方の参加を頂き、有難うございました。
牧場では、羊の毛刈り体験やアーチェリーの体験、シーブドッグショー
などがありました! 昼にはバーベキューなど盛りだくさんの内容を通して、
仲間とのとても良い交流が持てたと思います。そして何より、子供たち
の沢山の笑顔を見る事ができて良かったです。
また、榛名湖ではボートや、突然の雷雨など良い思い出をつくる事が
できました。
参加された方のみならず、その他たくさんの方々のおかげで、大成功
のファミリーバケーションに成りました。
本日に有難うございました。

親睦副委員長 斉藤豊店 斉藤勇



毛刈り体験中。上手にできたかな?



↑石塚部長キマってます!
←クレイさっぱり刈られました。



羊の横には!?



乗馬体験中!



特別賞 埼玉新聞社長賞 受賞!!

主張大会をおえて

この度の主張大会では皆さんに大変お世話になりました。中地区大
会、ブロック大会、県大会の約三か月間、皆様からのたくさんのご協
力に心から感謝申し上げます。
はじめて練習会で部員の前で話した時、とても緊張した事を思い出
します。10分間の主張の中で、自分の言いたい事をどう表現すればい
いのか。先輩方にご指導いただきながら、原稿を書き直しては直し、読む
練習の繰り返し。人に想いを伝える事の難しさを感じる毎日でした。
しかし、原稿を考える中で、商工会青年部と今まで以上に向き合え
ている自分に気が付き始めました。普段何気なく取り組んでいる活動の



7月13日4時56分 3144g
誠吾(次男)が無事産まれました。
祭り前日に生まれるとは...
我ながら良く出来た子です。笑
宜しく願います。

新しい仲間が増えました!!



皆さんこんにちは!!
この度、商工会青年部に入部
しました。(株)幸手スプリング
菅井里輝と申します。
諸先輩方と力を合わせ、町の
為、地域の為、少しでも力にな
れればと思います。
未熟者ではありますが、宜し
くお願い申し上げます。

さらに菅井君にお子様が生れましたので併せて皆様にご報告した
と思います。

中に、先輩方のどんな想いが込
められているのか...そして、自
分がこれから何を大切にしまが
ら活動すべきなのか。
私は、今まで青年部の先輩方
がコツコツと積み上げてきたも
のを大切にして、これからの商
工会青年部を盛り上げていき
たいと思います。今後ともご指
導よろしく願います。
総務委員 正福院 吉良 英敏

第5回復興支援 ボランティア活動

東日本大震災が起ってから私自身、被災地ボランティアには興味がありました。しかし、個人で参加するのはどこに参加したら良いか、時間や金銭的なものなどハードルが高く感じられ、なかなか参加出来ずにいました。

そして、私が青年部に入部して初の被災地ボランティア事業、震災から1年3カ月、報道以外に初めて目の当たりにする被災地の状況に改めて被害の甚大さ、悲惨さを感じました。家の基礎、コンクリートの廃墟だけが残り、雑草が生い茂る。確かに「あつたはず」の人の生活の跡、その往來に車が淡々と流れる風景。その風景にまだまだ地元の方々是非日常の中での生活をしているのだなと感じました。

当日のボランティアの内容は瓦礫拾いでした。梅雨の期間中にしては強い日差しと、海からの冷たく心地よい風に肌を焼きながらも作業には絶好の気候でした。場所は港から少し奥に入った、元は住宅、田んぼであったらしい所で、主に機械では取りきれない小さな木の破片、瓦やビニール、石、金属などを仕分けをする作業です。50〜60人位の人達が、田んぼの中やその周りの斜面に分かれてこのことと瓦礫を拾う。とても地道で体力のいる作業です。しかし、後々の土地に人がまた住めるようになる、美味しい作物がなるには必要な事です。そして拾った物の中には、茶碗やキヤラクター物の箸入れ、鏡など、人々が普通に生活していた跡の物があり、それらが無残にも津波により壊されていったという事に心が痛くなりました。また、作業していた場所の100m位奥には、津波の難を逃れた住宅が建っており、「被害の境目」をくっきりと見せつけられる場所でした。

作業が終わりに、現場でのボランティアリーダーさんのお話、ボランティアセンターにて南三陸町役場の総務課長さんからお話を伺う事が出来ました。ボランティアの状況、震災当時の状況、復興の進み具合など、現場にいる方々の生の声を聞けた事はとても貴重な体験だったと思います。

ボランティアやお話を聞いて私が思った事は、まだまだ復興は始まったばかりで、踏ん張っている現地の方々に私たちが出来る事はたくさん有るといふ事。その中でも重要なのが、こちらに帰って来てから現地の状況、人々の声をより多く伝える事です。

重複しますが、まだまだ私達に出来る事は多くあります。被災地に足を運んで自分の目で見て、自分の心で感じて、自分の言葉にする、自分のこれからに繋げられる良い機会だと私は自身は感じました。時間のある限り、この事業には参加して復興のお手伝いをしたいと思っています。



親睦委員 まま事屋 土屋雄一

部長のひとり言

「楽しむ・伝える」

来月10月21日(日)第19回市民まつり「ハッピーハンドフェスタ」が開催されます。

今年も青年部としては、キッズチャレンジ・飲食ブース・復興支援ブース等のイベントを企画し、「来場して下さる皆様に楽しんで頂けるようにまた、昨年もお手伝い頂いている幸手商業高校、日本保健医療大学の学生の方々や、「協力頂いている方々との交流を大切に取り組んでいきたいと思っています」。



7月に行われた行幸湖クリーン作戦や幸手駅周辺の美化活動を実施した際、多くの部員がゴミ拾いをしながら、一緒に参加されている方や駅に向う方に、「元気に」おはようございます」と挨拶してある姿を目にする事がありました。その姿や声を聞いてみると自然とゴミ拾いも楽しくなりました。こんな部員達の行動が、「ゴミを拾う・街をきれいにしよう」という目的以上の大切な事、楽しむ事を伝えてくれていると感じました。

今年の市民まつりは、日頃お世話になっている市内外の皆様に感謝し、今も復興に向け懸命に取り組まれている方々の「幸せを「手」で伝える」ことを大切にしながら、より多くの「笑顔」が見られるよう楽しみながら頑張っていこうと思います。

青年部部长 (有)石塚設備 石塚輝実

野球大会

8月8日(水)、幸手市ひばりヶ丘球場にて県青連第4ブロック野球大会、決勝戦が行われました。久々の決勝戦で対戦相手は久喜市商工会青年部さんでしたが、5-0と残念ながら完敗してしまいました。

毎試合OBの方や、商工会の職員さんが応援に駆け付けていただき、皆で楽しく野球が出来たと思います。今後も野球大会はあるので、いつかは優勝したいなあと思います。

決勝戦まで長い戦いとなりましたが、皆様ご協力ありがとうございました。

総務副委員長

和興工業 板谷和之



私達の町をきれいに 市内美化活動

8月18日朝6時より幸手駅より国道4号線交差点まで、美化活動を行いました。朝早く眠かったのですが、涼しい時間帯に活動することができて、とても良かったです。

美化活動は「少しでも自分が住むこの街が美しくありたい」という気持ちと、美しい街にしたいと思う情熱を繰り返し継続していく事」と倉繁委員長が言っていました。

これからは、積極的に参加したいと思いました。

研修委員 (有)小島商店 小島健一



こびり付いたガムを剥がしています。



たくさんのゴミを回収しました。



植え込みの中にもたくさんのゴミがありました。



最後に皆で集合写真！

お知らせ

9月9日(日) 第4ブロック部員大会
越谷レイクタウン 12時受付

9月14日(金) 愛の献血活動
勤労福祉会館

9月15日(土) 美化活動 6時

9月17日(月) ゴルフコンペ 鹿沼72

9月20日(木) 中地区正副部長会議 蓮田

9月23日(日) 東北ボランティア活動 宮城県

10月21日(日) 第19回幸手市民まつり

2012県青連コラム

第4ブロック臨時代表者会議って、何？

みなさんこんにちは。
この度は臨時代表者会議を幸手市主管で行う事となり、単会の皆様のご理解・ご協力誠にありがとうございます。

私たちが商工会青年部は補助金を使わせて頂いている団体ですので、会の大きなかじ取りはみんなで確認(承認)しながら進めていくのが鉄則です。この度の地区改正に伴う第4ブロック定款の変更となりますと、正にそのようになる訳です。総会の本決議の前に各単会の仮承認を頂く、その目的で開催をするのが今回の臨時代表者会議であります。

しかし改正定款が古すぎますね。実は定款は20年以上前のものですから、凝り固まってしまった。私たちの商売は常に早いスピードで動いている、対応を迫られる！ 青年部の規約もそのままになると、血流の止まった老体となってしまう思いを痛感しました。先が見えない感、変わるに変われない手遅れ感、ある単会に痛烈に指摘をされました。

なにはともあれ、あくまでも今回の地区改正案は完成系じゃない(加須・久喜合併愛情ウエルカム型といえますか)、言いたい事もたくさんある！でもその答えは次の世代に託します。次の合併、次の地区改正、次の青年部活動で見出しましょう。

今後の地区改正にあたり一言！

「何か質問ありますか？」の切実な問いには、優しさと次の世代へ託す気持ち、そして自分なりの建設的な案を持った上で鋭い質問を爆発させましょう。それが時代を担う責任と礼儀だと思います。

H25年度全国大会埼玉大会事業要領がいよいよオープンとなります！
ご期待ください。

県青連理事 (株)芦葉建設 芦葉武尊

編集後記

残暑といえど、30度を超える日が続いています。「暑さ寒さも彼岸まで」と、昔から良く聞く言葉があります。「冬の寒さは春分頃まで、夏の暑さは秋分頃までには和らぎ、過ぎやすすくなる」と言う、慣用句です。実際に、秋の彼岸は概ね5月末から6月上旬の気温とほぼ同じで、初夏の平均気温と等しくなるそうです。暑さが和らぐまであと少し。何かしてみたいかがでしょうか？

スポーツ？ アウトドア？ 趣味など...
何をしようかなあ...

総務副委員長 行幸自動車 深作篤史